

2026 年 7 月 9 日

厚生労働大臣

上野 賢一郎 様

全日本自治団体労働組合
中央執行委員長 石 上 千 博
現業評議会議長 川 口 篤 志



2027 年度政府予算編成に関する要請書

日頃より、厚生労働行政の推進にご尽力されている貴職に敬意を表します。

いま日本は、出生数の減少が続き、人口減少と超高齢化が一段と進む中で、社会のあり方そのものを見直す大きな転換点に立たされています。一方で、物価高に賃金上昇が追いつかず、労働の価値に見合う処遇が十分に確保されない状況は、日本社会の活力を損ない、次代を担う若者が将来に希望を描きにくい現実を生み出しています。

こうした中、地域社会において日々、安心して暮らしていくためには、持続可能な社会保障制度を確立することが何より重要です。2026 年度政府予算における社会保障関係費は 39 兆 0,559 億円となり、過去最大の規模となりましたが、2027 年度政府予算においても、引き続き、地域における医療や保健体制の充実、社会福祉施策の強化、これらに携わる地域公共サービス労働者の待遇改善など、かつてない高まりを見せる社会保障に対する市民の期待やニーズに応える必要があります。

つきましては、2027 年度の政府予算編成にむけて、以下の通り要請します。

記

【介護職場関連】

1. 2040 年問題を踏まえた、高齢者人口の増加や労働力人口の減少に対応するため、介護人材の確保・育成を計画的に推進し、次世代の介護の担い手養成に必要な研修体制の充実、離職防止や人材確保をはかるため処遇改善等にかかる予算の確保・充実をはかること。(◎)
2. 「介護予防・日常生活自立支援総合事業」における、栄養改善指導をはじめとした食にかかわる予算を充実させること。(◎)

【病院職場関連】

1. 看護補助や調理をはじめとする医療機関で働く職員の人員確保と定着にむけ、処遇改善にむけた対応を強化すること。(◎)
2. 2025 年診療報酬改定において措置された医療機関で働く職員の賃上げについては、現場実態を踏まえ、すべての職員に確実に行き渡るよう、引き続き改善・充実をはかること。(◎)
3. 新興感染症および災害等の危機に対応できるよう必要な物品の確保を行うとともに、現場実態に即した予算を確保すること。(◎)

【保健所関連】

1. 感染症の感染拡大時における検体搬送体制の強化にむけ、安定的な体制維持をはかるための人員確保と専用車両購入や車両整備に対する予算を確保すること。(◎)

【学校給食職場関連】

1. 「大量調理施設衛生管理マニュアル」の趣旨に沿った対応に加え、管理マニュアルでは、「室温は 25℃以下、湿度は 80%以下に保つことが望ましい」とされているものの、基準を満たしていない調理場が多く存在していることから、施設や設備の改善にむけ、必要な予算を確保すること。(◎)
2. 熱中症への対策が義務化されたことを踏まえ、現場実態に応じた空調整備や作業環境の改善をはかるため、必要な予算を確保すること。(◎)

【学校用務職場関連】

近年の記録的猛暑が続く中、学校用務員は屋内外において業務を行う必要があることから、義務化された熱中症対策について、取り組み事例の周知・共有化をはかるとともに、関係省庁と連携し必要な予算を確保すること。(◎)

【全職場関連】

中東情勢の悪化に伴い、石油由来製品（手袋・ギャザーキャップやラップ類）などの供給・調達コストに影響が生じており、必要数が確保できない場合には、感染防止対策や衛生管理に大きな影響を及ぼすことから、石油由来製品の確保にむけた支援と必要な予算を措置すること。(◎)

以 上